

新年に寄せて～支部長ご挨拶

北海道支部

森 操 HISホールディングス(株)



新年明けましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
会員企業の皆様におかれましても日頃より支部活動への多大なご協力ありがとうございます。
新型コロナが未だ猛威を振るっている中、3

年振りに行動制限の無いお正月を迎られました。北海道もまだ少数ではありますが、インバンドもみられます。
物価高、ウクライナ危機、中国経済の失速等マイナス要因が多いですが、入国制限措置の緩和ペース加速、対面型サービス消費拡大の需要喚起策の拡充、新型コロナウイルス感染症への治療薬の普及、外出自粛に伴う支出抑制で増加した貯蓄の取り崩しとプラス要因

もありますので、景気が上振れする事を期待しています。

・支部としての新年の抱負

支部会の回数を増やす。セミナーを開く、会員を増やすを目標に進めて行きたいと思います。

・支部長のチャレンジ目標

会員を増やす事と支部として機能するようになる。他支部との交流を深める。

東北支部

水野 節郎 (株)イーアールアイ



新年明けましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
昨年もコロナ禍でしたが、幸い、支部会議並びに交流会、技術セミナーが8月リアルとオンライン併用で開催でき、11月はEdgeTech+に合わせ、横浜会場にてリアルで実施できました。
今年は新型コロナに寄り添いながら、積極

的にリアルの形で支部活動を進めていきたいと思います。

いずれ新たな段階の新たな活動スタイルが定着するのではないか?

昨年同様、社会の変化の要求に対応すべく活動をJASAとJASA会員が共創して新たな技術と新たなサービスで対応する必要があり、お客様に寄り添う付加価値の高い、対応力が業界の反映と参画する企業の成長につながると確信します。

東北支部としての抱負としては、引き続きJASAが大事にしてきた会員相互のコミュニケーションをリアル/オンラインにいわば積極的な開催に実施できるようチャレンジしていくこととしたい。

加えて、『JASAビジョン2030』や『JASA三か年計画』に基づき、JASA活動の価値をプレゼンし、新規会員の加入を目指し、地域JASA会員・他支部との交流・協業して活性化を図って参ります。

関東支部

ファンマヌエル エステベス ビジネスキュー・アンド・パートナーズ(株)



関東支部より新年のご挨拶を申し上げます。
昨年は21世紀には起こらないと考えられていたような未曾有の事態が起きました。民主主義と霸権主義との本格的な衝突が起きていますが、ロシアは日本と国境を接する

隣国でもあり、起こり得るリスクに対してかつてなく将来が見通しにくくなっているかと思います。

こんな時こそお互いに協力しつつ改善に向けた取り組みを行っていく必要があろうかと考えています。そんな思いを胸に関東支部では2023年も支部例会を複数回開催し、異業種の方のご講演をお招きすること等を通じて会

員の皆様の意見交換の場をご提供することを計画しています。また同時に仕事から離れた交流の場として、夏には屋形船での懇親会なども開催していますので、是非お気軽に支部活動へご参加いただければ幸いです。

最後になりましたが、本年も昨年以上のご支援をJASAおよび関東支部に対して賜りますようお願い申し上げます。

中部支部

青木 義彦 (株)サンテック



新年あけましておめでとうございます。
新型コロナの影響が大きく社会に影を落とした3年を体験しました。世界が大きく変化した一時代の中にいる3年間だったと思います。新たな時代に対応したJASAを見出して行く年だと思います。

昨年は、景況面で停滞感が残る中でも確実

に回復基調の1年でしたが、期待した本格回復とはならなかったと思います。特に日本では、感染対策と経済活動を切り離した行動変化が難しかったようです。そこへロシアのウクライナ侵攻から始まった急激な円安などが加わり、複合要因が多くなりいつそう難しい新年だと考えます。

しかし、2023年は身近な業界の状況が多様化が進み、格差が明確化して行く面もあると考えますが、国や企業のみならず個人が少し先のビジョンを見る努力を続けることが、人口減少と

労働人口不足が深刻化する環境下で、経済活動を少しでも活性化することだと考えます。

支部長として、こうした時代を十分に配慮して、活動できなかった3年を振り返り、支部活動を地域内会員交流をベースに考えて行きたいと思います。

各会員企業の事情を考慮しつつ、リアル会合での活動を拡大して支部会員の間の直接交流を図りたいと考えています。皆様のご指導ご鞭撻をお願いいたします。

北陸支部

小林 靖英 (株)アフレル



新年にあたりご挨拶申し上げます。世界的にイノベーションが求められる中、IoTによる新たな価値創出、AIを中心としたシステムづくり、アジャイルで進む経営が加速度的な成長を展開しています。また、人と

共生するソーシャル・ロボットもいよいよ活躍を見せるようになり、新技術の社会実装について一層の進展が期待されます。

こうした変革、進化、成長の中で、顧客価値創出にむけて提案するエンジニア、そして将来の社会経営を担えるエンジニアの育成を目指して、会員企業のみなさんとともに、高等教育機関、研究機関、地域業界団体、行政期間と

連携し、産学官での活動を活発化したいと考えています。デジタル人材ノベーションチャレンジやETロボコンへの参加者、協力者の拡大、また地域における交流の場づくりの進展、さらにセミナー、ワークショップの実施を進め、地域活動と人材育成プラットフォームとしての活動に寄与していきたいと思っております。ぜひ、ご一緒に。本年も、よろしくお願ひいたします。

近畿支部

塩路 直大 (株)Bee



新年あけましておめでとうございます。コロナ禍の新年挨拶も4回目となりました。ただ我々の意識も随分とアップデートされ、コロナ禍であっても社会経済活動は確実に行っていく、そんな時代に変わってきています。我々としても未来に繋げるためのアップデートした活動として、SDGs、DX、GX、サプライ

チェーンを一貫したカーボンニュートラルへの取り組みなど、組込みシステムの枠にとらわれず社会をリードするJASAであり続けていきたいと思います。

・支部として新年の抱負

このコロナ禍において最も学んだことはリアルコミュニケーションの大切さと、無意識であつたリアルへの依存度の高さです。特に支部活動はローカルな集まりであり、よりリアルが求められるものと考えています。近畿支部では

とことんリアルに拘った地域ならではの活動として意識し、企業間交流やワークショップ、セミナーを実施していきます。

・支部の活動目標

近畿支部では会員企業にとって「使えるJASA」を目標としております。また2025年には大阪・関西万博を控えており関係機関との連携を進めて参ります。これらの取り組みについて、しっかりと会員企業に評価いただけるよう邁進して参ります。

九州支部

光安 淳 (株)エフェクト



新年あけましておめでとうございます。日頃より九州支部の活動に格別なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、まずは昨年のトピックスです。九州最大級の展示会である「モノづくりフェア2022」へ支部会員2社様、他支部会員3社様の出展を行いました。総来場者は2万人を超える盛況

ぶりで、各社よりビジネスにつながる手応えがあつたと聞いております。また、ビジネス交流委員会主催の「JASA九州地域交流セミナー2022」も開催し地域のビジネス交流にも貢献いたしました。共にリアルでの催しは実に3年ぶりとなり、コロナ禍における企業活動が変化してきた事を実感しております。

次に、支部としての活動目標です。ひとつは支部会員企業様の拡大です。現在は4社と厳しい状況です。JASAの取組みや会員企

業になるメリットを改めて発信していき、拡大につなげたいと考えております。もうひとつは、長年の夢でもある「ET福岡」です。実現するに当たって様々な課題が予測されますが、関係各所と連携して検討を進めてまいります。

以上、新年にあたりご挨拶をさせていただきました。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。